

令和3年度使用中学校教科用図書

に関する調査報告書

教科名 国 語

(様式1)

## 教科用図書調査に関する報告書

教科	国語
----	----

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
2 東書	国語 701 国語 801 国語 901	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Dマーク (P12) の表示があり、インターネット (音声・映像など) での活用ができ、深い学びへと誘う工夫が見られる。</li> <li>・6人の生徒と言葉の精が登場し、問いかげや対話形式で教科書を展開 (漫画) している。楽しさはあるが、この漫画の導入が紙面を雑然とした印象にしている。</li> <li>・本文の文字が大きく、読みやすい。</li> <li>・新出漢字は単元の末尾ではなく、ページ下に表示されている。難漢字にはすべてふりがながついている。</li> <li>・1年「話し方はどうかな」(説明的文章) から始まる。字が大きく、小学校の教科書からのつながりがみられる。</li> <li>・中原中也の詩は1年生には難しい。</li> <li>・「飛べ かもめ」は思春期前後の1年に適した教材である。</li> <li>・古典では、口語訳を原文の下に色を変えて書かれてあり、現代仮名遣いもカタカナで表記され、活用しやすい。</li> <li>・古典教材の説明が詳しく、例えば2年 P136 の平家物語「波の下にも都があります。」などの見出しもインパクトが大きい。</li> <li>・古典「浦島太郎の物語」「伊曾保物語」などから古文に入り、「竹取物語」につなげているが、「竹取物語」の分量が少ない。</li> <li>・1年の漢文は「矛盾」のみ。2年では、枕草子・徒然草・平家物語を学習するが、現代文の流れの中に古文が入り込んでいる。</li> <li>・短歌・俳句の教材が少ない。</li> <li>・教材の最後に「てびき」と「ふりかえり」を掲載し、「広がる言葉」につなげ、主体的により深く学べる工夫がされている。</li> <li>・巻末資料編が多く、本文教材と並行して使用すると、より深い理解が得られるように工夫されている。(2年 P290～で「枕草子」「徒然草」の作者の人物像がわかる)</li> <li>・「書く」「話す・聞く」「日本語探検」などのページは、情報量が多く、見づらい。</li> <li>・2年 P50 敬語や P146～のお礼状を書こうでは時候の言葉の掲載があり、実用的ではあるが、わかりにくい構成である。</li> <li>・文法の説明はわかりやすい。</li> <li>・教科書の表紙絵は、人気イラストレーターが描いたもので親近感がわく。</li> <li>・読書紹介を単元のテーマごとに配置し、活用しやすい。</li> </ul>

<p>15 三省堂</p>	<p>国語 702 国語 802 国語 902</p>	<p>現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉に学び、言葉で生きる」をテーマに掲げ、①主体的に ②対話をとおして ③深く学ぶ の三つの柱で構成されており、そこから6点を基本方針として編集されている。</li> <li>・全学年巻末に「読み方を学ぼう」があり、教材を読む時の着眼点などが明記され、生徒自らが考え方を学べるよう工夫されている。</li> <li>・「空中ブランコ乗りのキキ」は道徳的価値もあるなど、発達段階に応じた教材である。</li> <li>・3年の俳句では、テレビでおなじみの俳人夏井いつきを起用し、より俳句の世界を身近な物として捉えさせる工夫が感じられる。</li> <li>・各学年に JPOP を取り入れ、歌の言葉として言葉の伝える力・伝わる力を身近に感じられる。(例えば3年生「さくら」)</li> <li>・言葉の働きについて、2年では手紙の書き方や SNS など敬語だけでなく、人とのコミュニケーションについて実生活に活かされる工夫がある。(2年 P56、57)</li> <li>・ユニバーサルデザインに配慮され、視覚的に見やすく、わかりやすい。</li> <li>・読書活動に関して、単元ごとに「私の本棚」、読書体験として有名人を起用し、興味を惹かせる工夫がされている。</li> <li>・言語の説明において、定着を図るには確かめ問題が少ない。(例えば2年 P193)</li> <li>・教材最後の「学びの道しるべ」では、丁寧かつ簡潔に学習プロセスが示されており、何をどのように読めば力がつくかに関連付けて示している。また、学びを振り返る機会が同ページに設けられている。</li> <li>・「思考の方法」として自分の考えを整理したり、深めたりする方法を示し、わかりやすく提示され、生徒が主体的に学ぶことができる。</li> <li>・話す・聞く教材が少ない。</li> <li>・1年古文：P114・115に見られるように日本独特の「月」に対する心や月の異名を表記し、「竹取物語」につなげられ、単元構成に工夫がみられる。</li> <li>・古典については、場面を句切って現代文の中に古文が入っている。</li> <li>・2年平家物語「一ノ谷の合戦」(兵庫県)を取り上げている。</li> <li>・古典教材では、1年は原文左横に色を変えてカタカナで現代仮名遣いの表示があり、右側には読み仮名表示され、わかりやすい。3年では現代仮名遣いの表記はなく、段階的な学びを示唆するものと考えられる。</li> <li>・現代語訳が青字表記で見やすく、区別しやすい。</li> <li>・Web を活用した学習設定はされていない。</li> <li>・学習指導要領の目標にある、伝え合う力を高めるための工夫として、多くの手法について具体的に解説され、実用的である。</li> <li>・文法のまとめでは、わかりやすい図表とともに、発展的な内容が関連づけられ、より深い学習につなげることができる。</li> </ul>
-------------------	-------------------------------------	--	--

<p>17 教出</p>	<p>国語 703 国語 803 国語 903</p>	<p>伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①主体的・対話的で深い学びを実現する」「②確かな言葉の力を身につけ、いかす」の2本柱から生きて働く言葉の力の育成が図られている。</li> <li>・学習の始めに「学びナビ」があり、学びに向かう方向性が示され、主体的に学習に臨める工夫がされている。</li> <li>・生徒の興味を惹かせる工夫として（1年 P51）本文中のキーワードを最初に提示し、写真を多用している。</li> <li>・生徒が好む教材が多い。</li> <li>・1年宮沢賢治「オツベルと象」、「河童と蛙」では群読（朗読）の練習に最適の楽しい詩である。</li> <li>・教材の配列に疑問が残る。</li> <li>・1年の最初の「ベンチ」は、ボリュームのある教材である。</li> <li>・重松清や池上彰を起用し、生徒達に親近感を与えている。</li> <li>・夏の葬列など名作が多い。</li> <li>・紙の建築として、防災教育にもつなげられている。</li> <li>・助詞を3年で履修するようになっているが、学習過程から考えると、もう少し早い段階で履修した方が良い。</li> <li>・教科書の文字が読みづらい。</li> <li>・新出漢字は教材ごとにまとめて表示され、未学習の漢字には読み仮名がついている。</li> <li>・写真等が多く、わかりやすい反面、俳句・短歌については、作者の写真がない。</li> <li>・古典や四季の便りが盛り込まれている。1年では竹取物語だけでなく、昔話「桃太郎」を古典の導入としている。</li> <li>・漢詩は3年生（他社は2年生）。3年生でも現代仮名遣いの表示がされている。</li> <li>・古典では、原文を中心に左右に口語訳や現代仮名遣いなどが書かれており、わかりにくい。（2年 P137）</li> <li>・読書教材をふくめ、読む教材が多い。</li> <li>・学びのリンクとして、Webサイトで資料情報が見られる。（音読はない）</li> <li>・教材の最後に「みちしるべ」で手立てを表示し、同ページに振り返りも掲げられている。</li> <li>・全学年、巻末に表現に役立つ言葉などが掲載され、活用しやすい。</li> </ul>
------------------	-------------------------------------	--	--

<p>38 光村</p>	<p>国語 704 国語 804 国語 904</p>	<p>国語 1 国語 2 国語 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年巻頭に、「学習の見通しをもとう」「思考の地図」が情報整理されており、学びの視覚化が図られている。</li> <li>・論理的に自分が思っていることを話す・書くことに重点がおかれている。</li> <li>・関連する書籍の紹介が的確で、説明も添えられているためわかりやすい。</li> <li>・説明文はわかりやすい構成となっており、学びやすく、教師にとっても指導しやすい。生徒も好む教材である。(1年「ちょっと立ち止まって」「ダイコンは大きな根?」)</li> <li>・2年 P115～の手紙の書き方や P117 敬語は、実生活に生かせ、トライやる・ウィーク等の活動でも活用できる。</li> <li>・3年の教材については、文学的文章に明るさのある教材が少ない。</li> <li>・「エルサルバドルの少女 ヘスース」「紛争地の看護師」「温かいスープ」の配列が、世界→日本→個人の生き方へと3年生に自己の存在を焦点化させる教材が続いている。</li> <li>・挿絵で惹きつけられるものがない。</li> <li>・単元末尾には、目標、手立て、振り返りが同ページに掲載され、学習の見通しを持たせやすい。</li> <li>・新出漢字はそのページ下に記載し、教材ごとにまとめた表示もある。</li> <li>・3年 P194「季節のしおり」で季節を表す歌が掲載され、巻末には「季節の言葉」を示し、日本独特の四季を表す言葉を知り、豊かさや美しさを味わうことができる。</li> <li>・古典では、口語訳、原文、ふりがな、現代仮名遣いがすべて同じ色で書かれ、すっきりはしているが、区別しにくく、わかりづらさがある。</li> <li>・現代仮名遣いは1、2年では表記しているが、段階的な学習を考慮してか3年での表記はない。</li> <li>・口語訳は原文の下に書かれているものもあれば横に小さく色を変えて表示されているものもあり、統一されていない。</li> <li>・漢詩は2年。</li> <li>・QRコードが単元内にあり、音読で活用できる。</li> <li>・巻末には、受験でも役立つ文学史の掲載がある。</li> <li>・広がる読書では教材に関係する本を紹介し、生徒の興味をひく工夫がされている。</li> <li>・「学習の窓」で学習のポイントが提示され、学習の見通しを持つことができる。</li> <li>・「書く」分野では、資料や図が多く、わかりやすい。</li> <li>・情報の扱いに関する内容が設定されている。</li> </ul>
------------------	-------------------------------------	-------------------------------	---

## 教科用図書調査に関する報告書

国語		観点別評価	「◎」優れている	「○」標準的	「△」やや劣る	光村
選定の観点	選定の視点	東書	三省堂	教出		
学習指導要領との関連	1 学習指導要領に示されている国語科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○	○	○	○
	2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	3 「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	○	○	○
	4 言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	△	△	△	△	○
内容	1 社会生活に必要な知識や技能が習得できるよう、日常生活と関連付けた工夫がなされているか。	○	○	○	◎	◎
	2 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	3 語彙を豊かにし、言語感覚を養う工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	4 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる工夫がなされているか。	○	○	○	○	○
	5 本や新聞、インターネットなどから集めた多様な情報を活用し、報告、説明、提案で きる内容となっているか。	○	○	○	○	◎
	6 我が国の伝統的な言語文化に親しんだり、理解したりすることができる内容となっ ているか。	○	◎	◎	◎	◎
構成・分量	1 内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○	○	○	○
	2 生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	△	○	○	◎	◎
表記・表現	1 表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	△	◎	○	○	○
	2 文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○	△	○	○
	3 ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、 配慮されているか。	△	◎	○	○	○